

高尾の森づくりの会 へのお誘い

2025/9/6

【日本山岳会 高尾の森づくりの会とは】

日本山岳会高尾の森づくりの会は、**2001年**に日本山岳会(JAC)の自然保護委員会の委員が中心となって設立された森林ボランティアの市民団体です。その経緯から、JAC内部では、当会は支部と同等とされています。

【森づくりの目標】

- ◎私たちの森づくりの目標は、かつてここにあった「多様で豊かな森林」を復元することです。
- ◎目標とする森林は、植物種が多様で、多彩な林相の森林、また、動物相が豊かで、景観・活力に優れ、森からの恵みも活用できる森林です。
- ◎活動指針として50年間のビジョンを定めた「長期計画」を作成しています。



親子森林体験



植樹後7年のウワミスザクラ(径24cm)

ご参考地図

当会活動エリア
3枚後の頁、
右上の赤枠です

京王：高尾山口駅

作業日

- ◎ 活動は毎月第2土曜の定例作業日を主体に行っています。
- ◎ 参加者は毎回平均60人程度、年間の合計はのべ1,000人に及んでいます。

★入会を希望される方は、ホームページからお申し込みください。

<http://jactakao.net>

<https://jactakao.org/>

- **会の構成（2025年5月現在）**
- **個人会員：約163名（内訳： 男性80% 女性20%）**
- **年会費：3,500円**

○ **法人会員：8社**

**伊藤ハム米久ホールディングス(株)、(株)エリオニクス、
コニカミノルタ(株)、 高尾登山電鉄(株)、
(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント、
電源開発(株)、 富士電機(株)、 三井住友信託銀行(株)**

- **特別支援団体：公益社団法人国土緑化推進機構
京王電鉄株式会社**

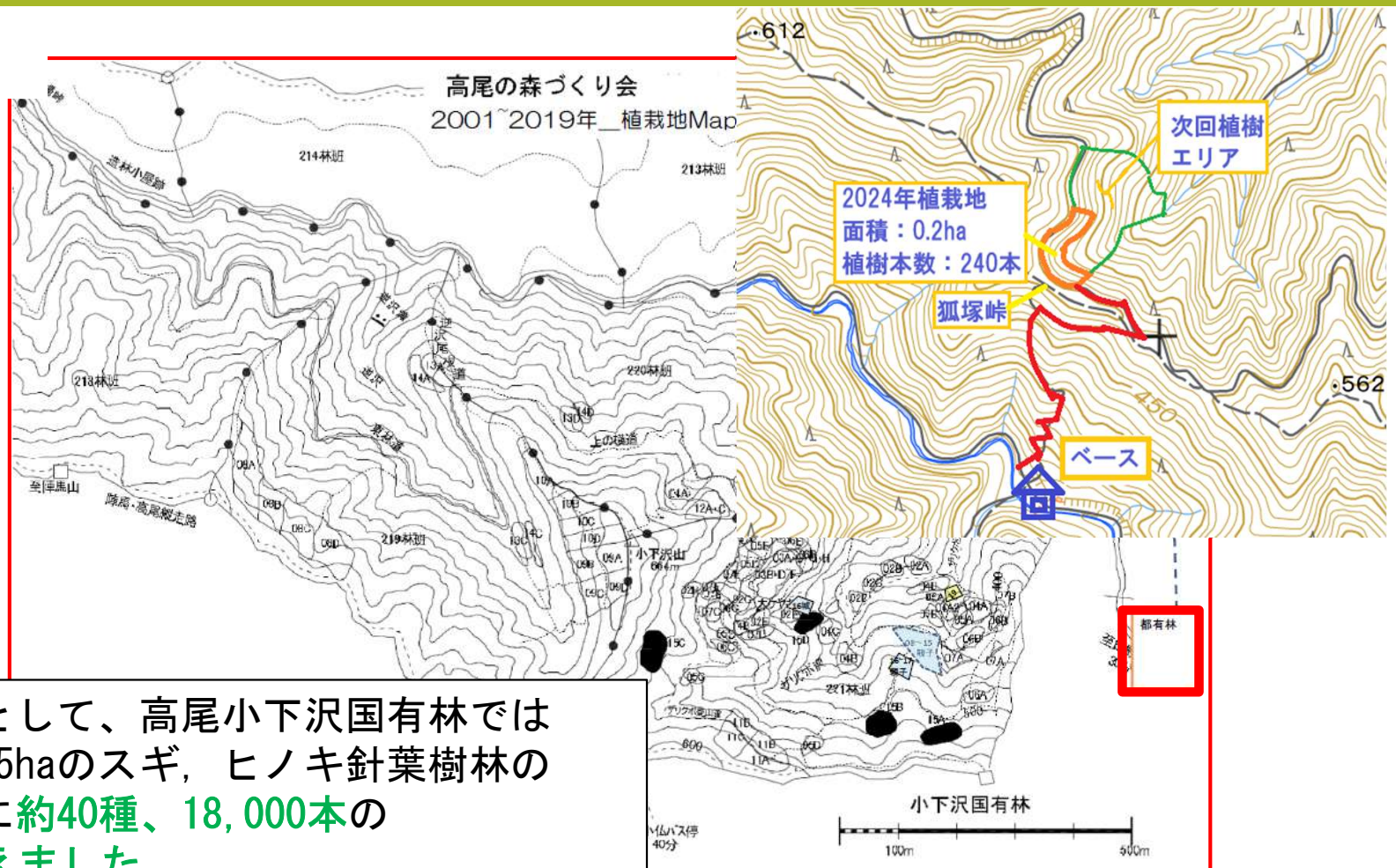
【主な活動エリア】

2015年までは、**小下沢国有林**が主な活動地でした。2022年からは**都有林**の植樹も行っています。

2024年からは**板当国有林**の植樹も行っています。

具体的な植樹活動内容として、高尾小下沢国有林では2001年から15年間に13.5haのスギ、ヒノキ針葉樹林のギャップ地とその樹下に**約40種、18,000本の落葉広葉樹の苗木を植えました。**

今ではスギ、ヒノキに劣らず大きく育ち、立派な針広混交林が出来上がりつつあります。



【都有林での活動内容】

都有林には2年間で13種、388本の落葉広葉樹の苗木を植えました。

	樹種	2022年4月植 樹	2022年11月 補植	2022年11月 植樹	2023年4月 植樹	総合計
1	イタヤカエデ	15	14		20	49
2	イロハモミジ	15	3			18
3	エノキ			20	20	40
4	オオモミジ				20	20
5	カツラ	15	2			17
6	クヌギ			20		20
7	クリ				20	20
8	ケヤキ	15	1		20	36
9	コナラ	15	1	20	20	56
10	トチノキ				20	20
11	ミズキ	15	2			17
12	ヤマザクラ	15	2		20	37
13	ヤマボウシ	15	3	20		38
	合計	120	28	80	160	388

当会定例作業以外の主な活動内容

【普及宣伝活動】

- ◇植樹祭
- ◇紅葉鑑賞会
- ◇高尾山 599ミュージアム出展
- ◇法人会員企業の夏祭り出展
- ◇広報誌『高尾の森通信』
- ◇ホームページ
- ◇日本山岳会 活動協力

【啓発活動】

- ◇青少年森林体験スクール
- ◇親子森林体験スクール
- ◇父子キャンプ

【プロジェクト活動】

- ◇三宅島緑化再生
- ◇高尾山 一丁平 環境整備 支援

【専門班活動】

- ◇動物・鳥類調査
- ◇植生調査
- ◇物づくり(伐採木の利活用)
- ◇森の研修・安全研修・チェーンソー研修等
- ◇各地の美林見学
- ◇ベース小屋・トイレ・道具小屋管理
- ◇環境整備
- ◇道具調達・管理